

2013年度 卒業研究 案内

国際都市計画・地域計画研究室（城所・瀬田・片山研究室）受け入れ人数 6人

[Website] <http://www.onishiken.t.u-tokyo.ac.jp/>

【指導教員】

城所哲夫（准教授 アジア都市計画論、都市・地域ガバナンス論）

瀬田史彦（准教授 国土・都市計画、地域開発、グローバル都市論）

片山健介（特任講師 EUなど諸外国の地域計画論、広域計画論）

【研究室の特徴と研究テーマ】

自ら問題を立て、その解を探究するという姿勢を重視します。各自の問題意識を尊重したうえで、指導教員と相談する中で具体的な研究テーマを決定するプロセスを根気よく続けることが、当研究室の特徴です。幅広い視点をもちつつ、具体的に、都市や地域の現象や計画課題について考えてみたいという人を歓迎します。

【教員の研究テーマ】

指導にあたる教員の現在の主な研究テーマは次の通りです。研究テーマを考える上で参考としてください。

城所哲夫

- ・アジア都市論
 - アジア・メガシティのグリーン成長、住民参加まちづくり、アジア比較都市計画制度論
- ・自立地域圏論
 - 東日本大震災からの広域復興ビジョン研究、都市・農山漁村連携による地域再生、都市と自然の共生
- ・スマート・クリエイティブ都市論
 - IT空間と都市空間の融合、低炭素まちづくり

瀬田史彦

- ・国土・地域政策論
 - 国土計画・ランドデザインの研究、国土構造（一極集中・多極分散）の研究、地域格差論、自治体連携
- ・グローバル都市論
 - 巨大都市論、多国籍企業立地論、開発途上国の地域開発と開発援助、PPP（公民連携）
- ・人口減少局面のまちづくり
 - インフラの統廃合・再編、まちの使いこなし、空間マネジメント、コンパクトシティ、「創造的再生」

片山健介

- ・EUの地域計画論
 - EUの都市・地域政策研究（都市再生、地域振興）、EU諸国の空間計画制度・地域計画手法の研究
- ・広域ガバナンス論
 - 都市・地域計画の観点からみた広域行政・広域連携手法に関する研究
- ・集客型市街地計画論
 - 東京の集客型市街地の変容とまちづくり主体の関与過程に関する研究

【説明会予定日時】

1回目 2013年4月16日（火）12時10分から12時30分。14号館911号室。

2回目 2013年4月17日（水）12時10分から12時30分。同上

★過去5年間の卒論題目一覧

2012年度

- ・大塚 敦史「ニューヨークのデジタル都市政策の展開」
- ・岩田 大輝「都心部における道路拡幅による近隣型商店街の変遷とその影響-近隣交流の場としての機能に着目して」
- ・北島 遼太郎「タイ大洪水後の日系企業の立地動向に関する研究-タイ政府による復興開発戦略との関連で」
- ・竹内 一紘「都市における社寺の役割と周辺環境についての一考察-比叡山系社寺の祭りと自然との関連に着目して」

2011年度

- ・諸井 秀次「東京都区部における大型複合開発の波及効果に関する研究」
- ・伊藤 弘基「定住自立圏による協定に基づく市町村間連携の意義・課題と展望」
- ・田丸 宏晃「津波被災地における復興空間計画プロセス～アチェの Village Plan に着目して～」

2010年度

- ・久保 敦史「都市内農地を活用した市民・農家・行政による新しい「農」との関わり～横浜市を対象として～」
- ・畠 靖人「欧州文化首都の意義と展望-リバプールを事例として」
- ・山縣 亮太「再開発の計画的誘導の現状とその手法に関する考察」
- ・渡辺 匠「低炭素型地区開発の理想と現実-北九州市と千代田区の取組を事例として」

2009年度

- ・小野 悠「アフリカの都市における土地保有権と居住環境改善との関係についての研究-ザンビア・ルサカの未計画居住地における女性に焦点を当てて」
- ・栗原 拓也「人口変化と土地利用動向から見た富山市コンパクトシティ政策評価」
- ・隅田 順「ドイツの都市再生における非法定計画の役割と進展～旧東独都市ライプツィヒ市を事例として～」
- ・戸叶 洋道「中国における急速な都市化発展と土地・戸籍の二元管理による居住環境の変化-重慶市を事例として」
- ・鳥海 陽史「インドにおける土地利用規制と都市化プロセス～ムンバイを事例として～」

2008年度

- ・芦田 なな「FESTIVALCITY ～暫定的土地利用の効果と課題～」
- ・大石 彩恵「直島の観光による活性化の現状と課題」
- ・中村 彰秀「道州制の導入に関する研究-関西圏における府県間連携に着目して」
- ・広野 学「学校跡地の活用が周辺地域に与える影響に関する研究」
- ・松原 浩子「テレワークはワークライフバランスの向上に寄与できるか～職住接近の光と影～」

★研究室活動紹介

■水戸スマート・クリエイティブ・シティ研究

水戸市の中心地区を対象として、大学院生、学部3年生が協働して、AR技術を活用したIT空間と都市空間の融合による次世代型都市の提案をおこなった。提案内容は水戸まちづくり学生提案コンペで最優秀賞を獲得し、現在、実現に向けて検討を進めている。

■三陸広域復興ビジョン研究-震災復興/自立地域圏/国土計画...

東日本大震災を受け、広域的な視点から、「国土計画のあり方と三陸広域復興ビジョン」をまとめた。留学生を含む大学院生8名が参加し、被災地自治体担当者や宮城大学の学生とも意見交換を行った。成果は計画行政学会復興フォーラムのポスターセッションで発表した。

◎論文題目や研究活動の情報は、研究室ホームページで公開しています。

